

移動の自由をはじめとした北朝鮮の人権状況改善を目指す団体「Free2Move (F2M、自由往来の会)」を3月に発足させ、共同代表に就いた。

大阪や東京で育った在日コリアン3世。サッカー部の活動に打ち込んでいた高校時代、監督から「外国人は(当時は)団体選手になれない」と知らされた。「当時は民族意識は全くなかったのでショックだった。朝鮮人としてのアイデンティティが必要だ」と思い、大学に入り文化や歴史を学ぶようになった」と振り返る。

近年は社会福祉法人に勤務しながら、2018年からは在日コリアンや家族の北朝鮮への帰国事業(1959〜84年)による「帰国者」の人生を聞き取り記録するプロジェクト

## 北朝鮮人権状況改善へ



ホン・キョンウイ 1959年大阪市城東区生まれ。在日本朝鮮人総連合会(朝鮮総連)と傘下団体で計20年近く勤務した後、NPO法人コリア人権生活協会や中高一貫校「コリア国際学園」の設立に携わった。F2Mのもう一人の共同代表は韓国在住の翻訳家・人権活動家、朴香樹(ハク・ヒャンス)さん。

由は基本的人権の根幹なのに、北朝鮮での生活実態をまとめ、今の北朝鮮ではさまざまな意味で実現していない」とした。今後、韓国や欧米の団体の思いからだ。朝鮮戦争で生じた「離散家族」をはじめ、北朝鮮から海外に逃れた人拉致被害者や家族とも連携

# 移動の自由、実現を

クトに取り組んでいた。記録集を出版し、活動を終える計画だったが、いろいろな資料を入手し人脈もできた。社会活動に転換すべきではないか、との意見がメンバーから出て、F2Mの結成につながった。

共同代表としてF2Mの活動に注力しようと決意したき

っかけは、昨年12月末に金正恩朝鮮労働党総書記が韓国について「もはや同族、同質の関係ではない」と発言し、対韓国政策を転換したことがきっかけ。」「ゆゆしき事態で、北の人々ももっと苦しむことになる」と言

団体名の由来は「移動の自由」

脱北者、日本人を含む拉致被害者の問題などがある。北朝鮮では国内移動にも通行証が必要だという。

を深めたいと話す。メンバーは多国籍で、国内で人権活動を担う次世代の人材育成も目標に挙げる。

「体制変化がないと自由往来は実現できない。時間はかかるが、人権を旗頭に北の政権に圧力をかけ、体制変化を促したい」と言う。日本への脱北者らに聞き取り調査、